

市民アンケート調査結果

1 調査の概要

(1) 調査対象

- ・市内全域 3,000 世帯（業者収集マンションは除く）
- ・エコまちステーションの来客者 421 世帯
- ・ごみ減量エコバスツアーの参加者 48 世帯

(2) 調査方法

○配布方法

- ・まち美化事務所の職員が、調査票を担当区域ごとに無作為に配布
- ・エコまちステーションの職員が、調査票を来客者に配布
- ・ごみ減量エコバスツアーの担当職員が、調査票を参加者に配布

○回収方法

- ・調査票に同封している返信封筒にて郵送（料金受取人払）

(3) 調査期間

平成22年6月25日（金）から7月12日（月）まで
7月12日（月）までの消印分を有効とした。

2 調査結果

(1) 回収状況

総配布数：3,469 通
総回収数：1,521 通
回収率： 44%

(参考) 直近の京都市におけるアンケート調査の回収率

<環境政策局関係>

- ・ 市民のごみ減量やリサイクルに関する意識、行動アンケート調査
(平成 20 年度)：43%
- ・ 「"DO YOU KYOTO?"環境モデル都市・京都」を目指して
市政総合アンケート調査（平成 21 年度）：41%

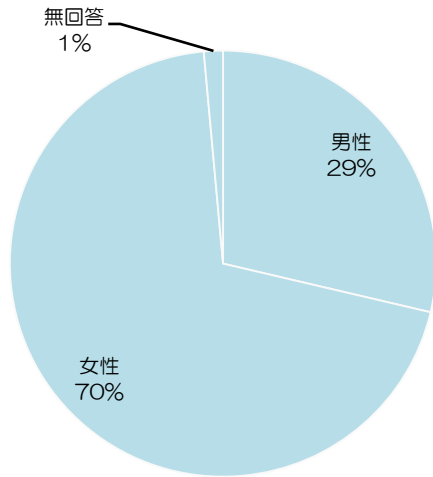
<他局関係>

- ・ 京都市におけるマラソン大会開催に関するアンケート調査
(平成 21 年度)：32%
- ・ 自転車利用に関するアンケート調査
(平成 21 年度)：33%

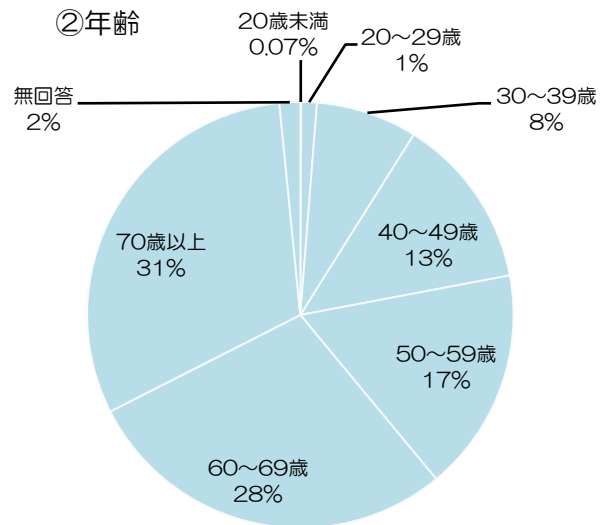
(2) 回答者の基本属性 (調査票 Q9)

総回答数：1,521 人 (=総回収数)

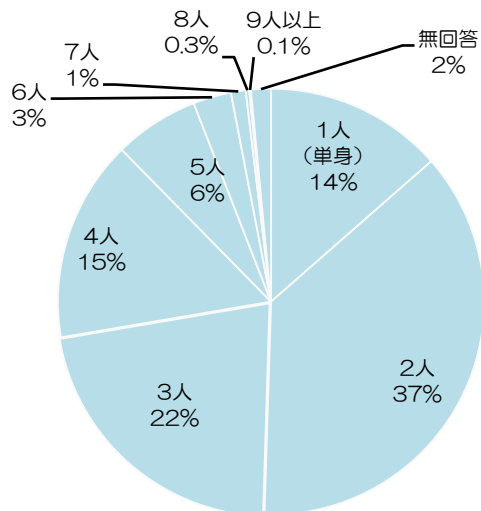
①性別



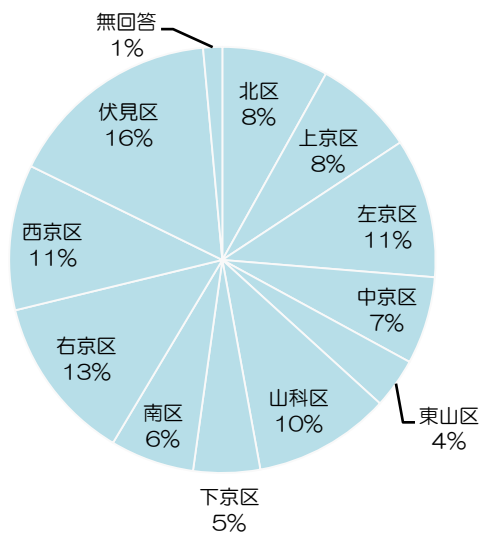
②年齢



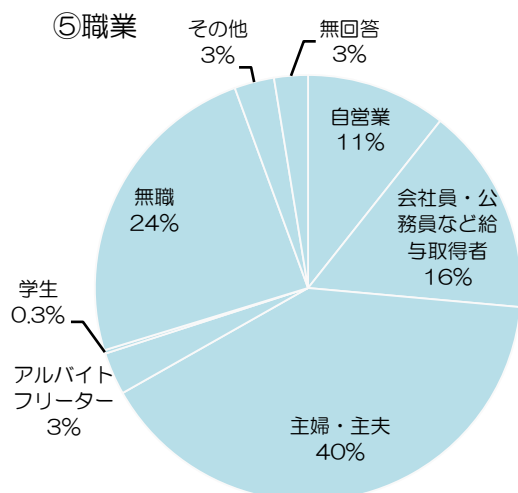
③世帯構成人員数



④居住区



⑤職業



なお、今回のアンケートでは、60歳以上の回答割合が、比較的に高かったことから、年代別の集計を行った結果も参考までに記載した。

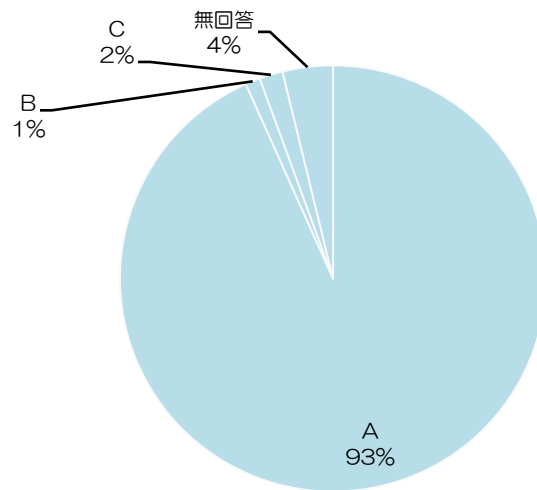
ただし、20歳代以下の回答数は16しか得られなかったため、年代別集計は30歳代以上を対象に行った。

(3) 普段の家庭ごみの捨て方(調査票 Q1)

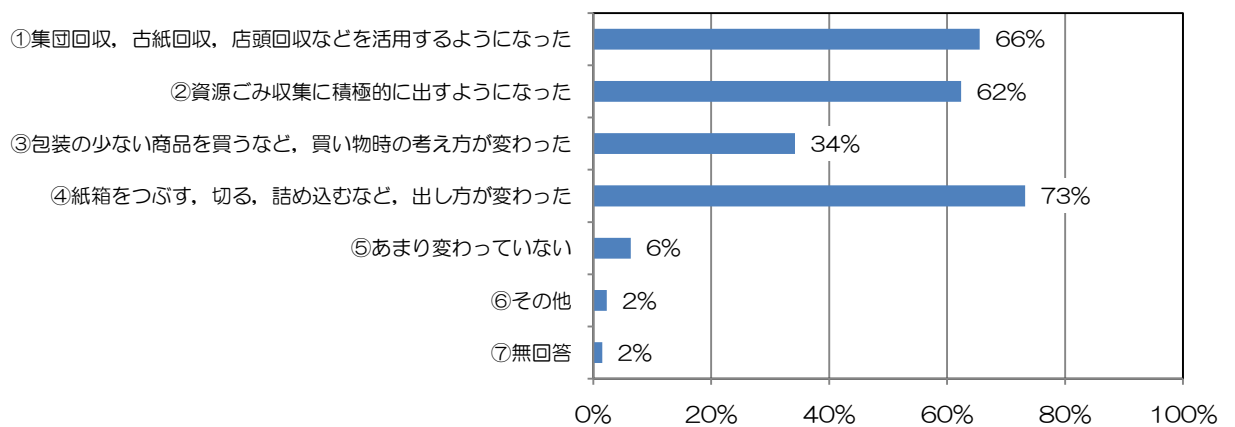
A: 有料指定袋に入れて京都市にて収集

B: 一般の透明袋にいれて民間事業者にて収集

C: 一般の透明袋に入れて民間にて収集, 資源ごみのみ有料指定袋に入れて京都市にて収集



(4) 有料指定袋制の実施後のごみの出し方やごみの減量・リサイクルに関する取組の変化(複数回答)(調査票 Q2)



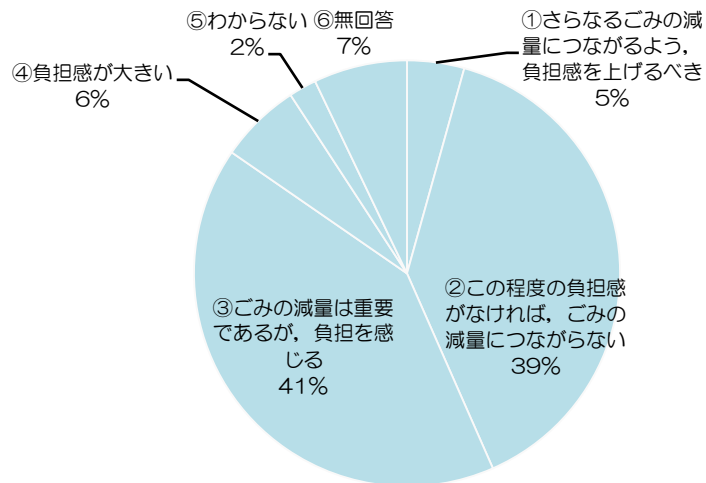
(参考 年代別集計)

(単位: パーセント)

	30代 (117)	40代 (199)	50代 (258)	60代 (434)	70~ (470)	傾 向
①集団回収等	56	64	60	68	71	60代以上が高く, 50代以下との差は10%程度
②資源ごみ収集	34	51	60	67	73	40代, 30代にかけて大きく減少
③買い物の考え	25	30	26	34	42	70代が若干高く, 60代以下は30%周辺
④つぶす, 切る等	68	73	72	74	76	大きな差はない
⑤変わっていない	12	10	7	6	4	30代, 40代が若干高い
⑥その他	3	1	3	3	2	大きな差はない
⑦無回答	3	1	1	0	3	大きな差はない

※ 年代の下()内の数字は, 各年代の回答数

(5) 有料指定袋の価格に対する負担感（調査票 Q3）



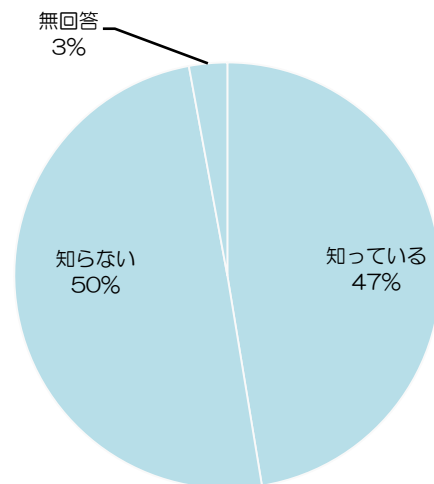
(参考 年代別集計)

(単位：パーセント)

	30代 (117)	40代 (199)	50代 (258)	60代 (434)	70～ (470)	傾 向
①上げるべき	3	3	3	3	9	70代以上が極端に高い
②この程度必要	30	37	36	43	46	若くなるにつれ、低くなっているが、極端な差ではない
③負担を感じる	52	52	50	39	36	60代以上が低く、50代以下との差は約10%
④負担感が大きい	12	6	8	8	3	70代以上以外は概ね同程度（40代は少し低い）
⑤わからない	2	3	2	2	3	大きな差はない
⑥無回答	4	3	4	8	12	60代以上が高い

※ 年代の下 の () 内の数字は、各年代の回答数

(6) 有料化財源を3つの分野に限定して活用していることについての認知度（調査票 Q4-1）



(参考 年代別集計)

(単位：パーセント)

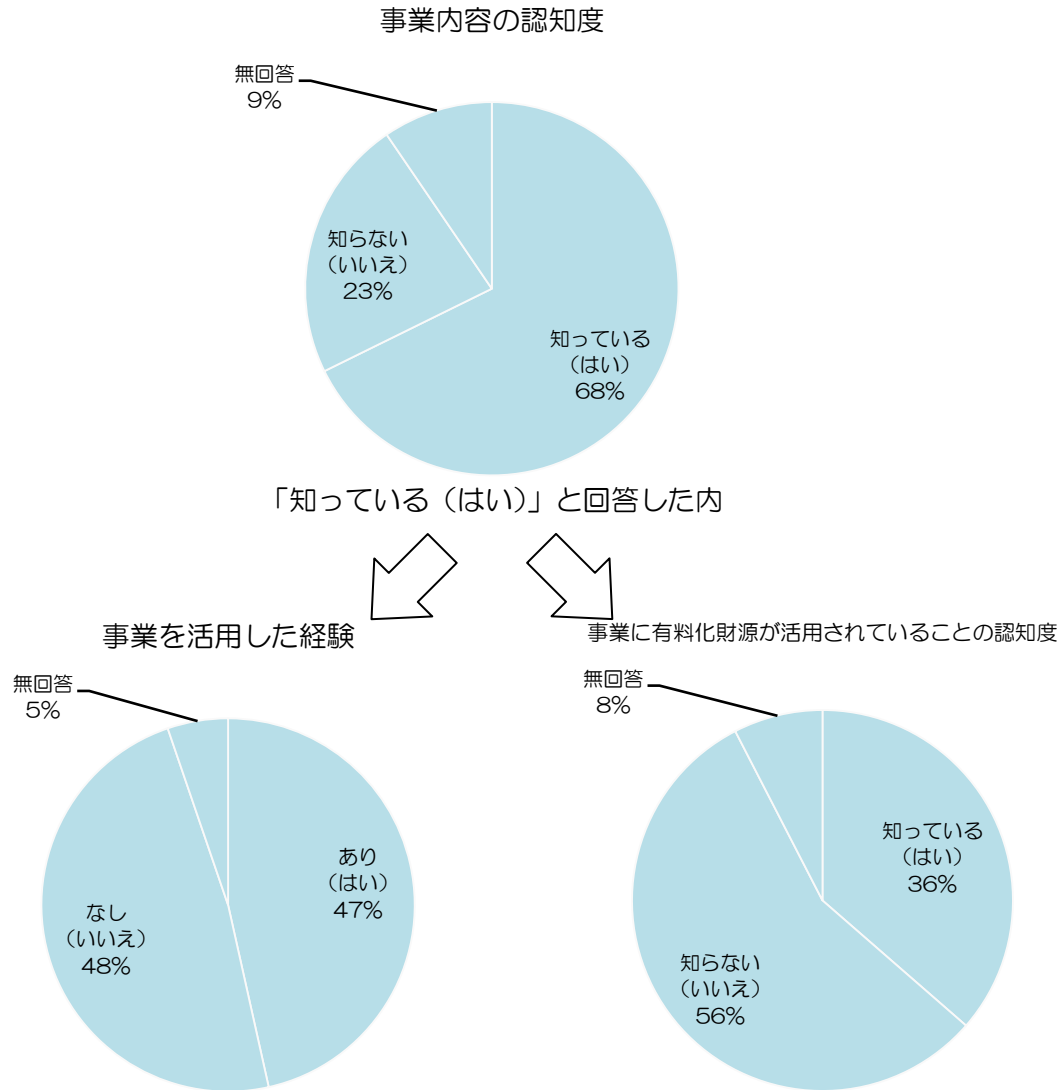
	30代 (117)	40代 (199)	50代 (258)	60代 (434)	70～ (470)	傾 向
知っている	26	42	34	52	59	30代、50代の知っている割合は、60代以上の半分程度
知らない	74	58	65	45	35	40代はその真ん中辺り
無回答	0	0	1	3	6	60代以上が高い

※ 年代の下 の () 内の数字は、各年代の回答数

(7) 有料化財源活用事業の分野別の認知度（調査票 Q4-2）

【分野】 ①ごみ減量・リサイクルの推進

【例示した事業】 蛍光管、使用済てんぷら油等資源物の回収拠点の支援



（参考 事業内容の認知度の年代別集計）
（単位：パーセント）

	30代 (117)	40代 (199)	50代 (258)	60代 (434)	70～ (470)	傾向
知っている	63	73	67	69	67	各年代同程度と考えてよい 60代以上が高い（30代も高い）
知らない	29	21	29	22	19	
無回答	8	6	5	9	14	

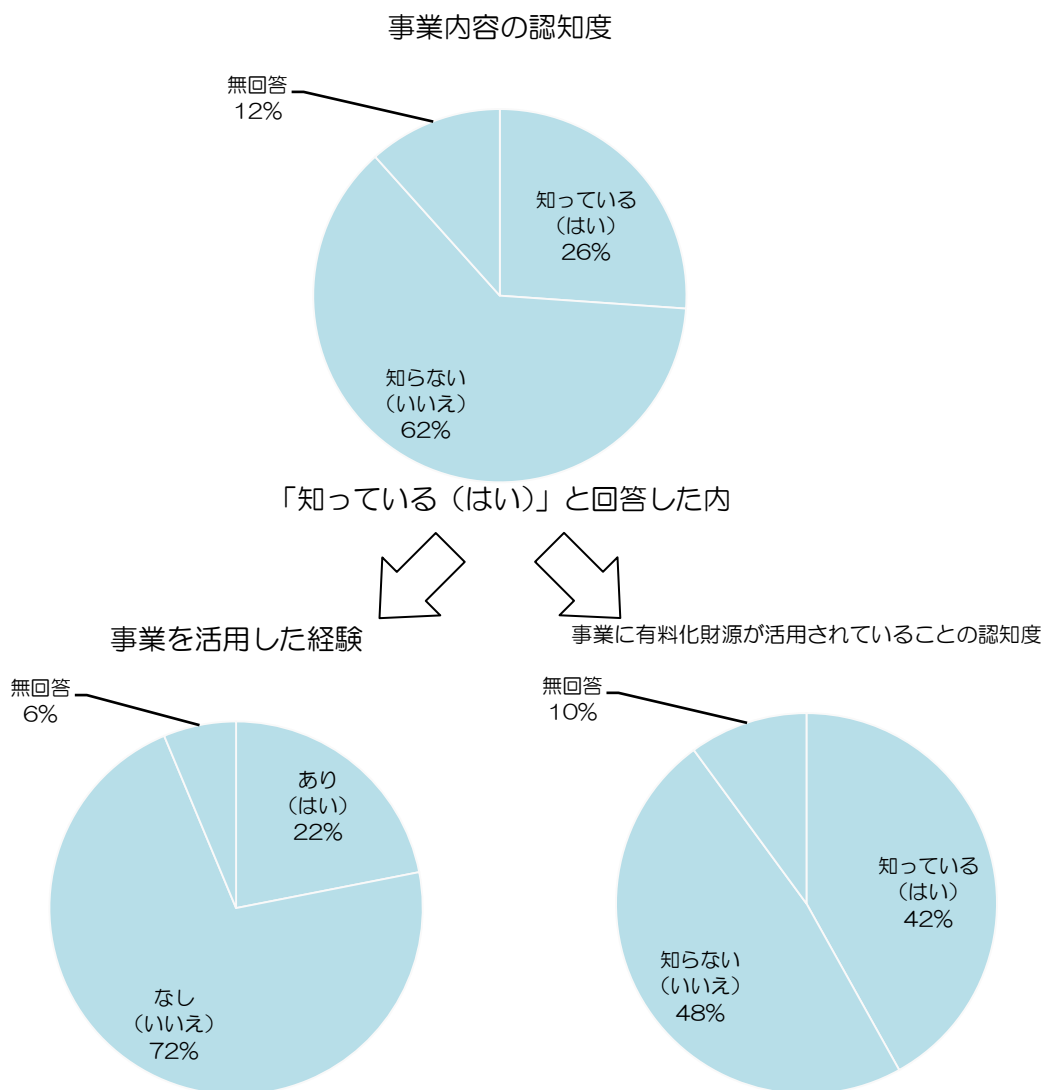
※ 年代の下の（ ）内の数字は、各年代の回答数

なお、この事業を活用した経験の年代別状況は、30、40代が25%前後、50代以上が35%程度となっている。

また、この事業に有料化財源が活用されていることへの認知度については、50代以下が10～20%、60代以上が30%前後となっている。

【分野】 ①ごみ減量・リサイクルの推進 （続き）

【例示した事業】 ごみの処理・リサイクルを行う施設の見学会の実施（ごみ減量エコバスツアー）



（参考 事業内容の認知度の年代別集計）
（単位：パーセント）

	30代 (117)	40代 (199)	50代 (258)	60代 (434)	70～ (470)	傾 向
知っている	13	25	26	29	29	40代以上はほぼ同程度で、30代だけがその半分程度の割合となっている 60代以上が高い
知らない	79	70	68	59	54	
無回答	8	5	6	12	17	

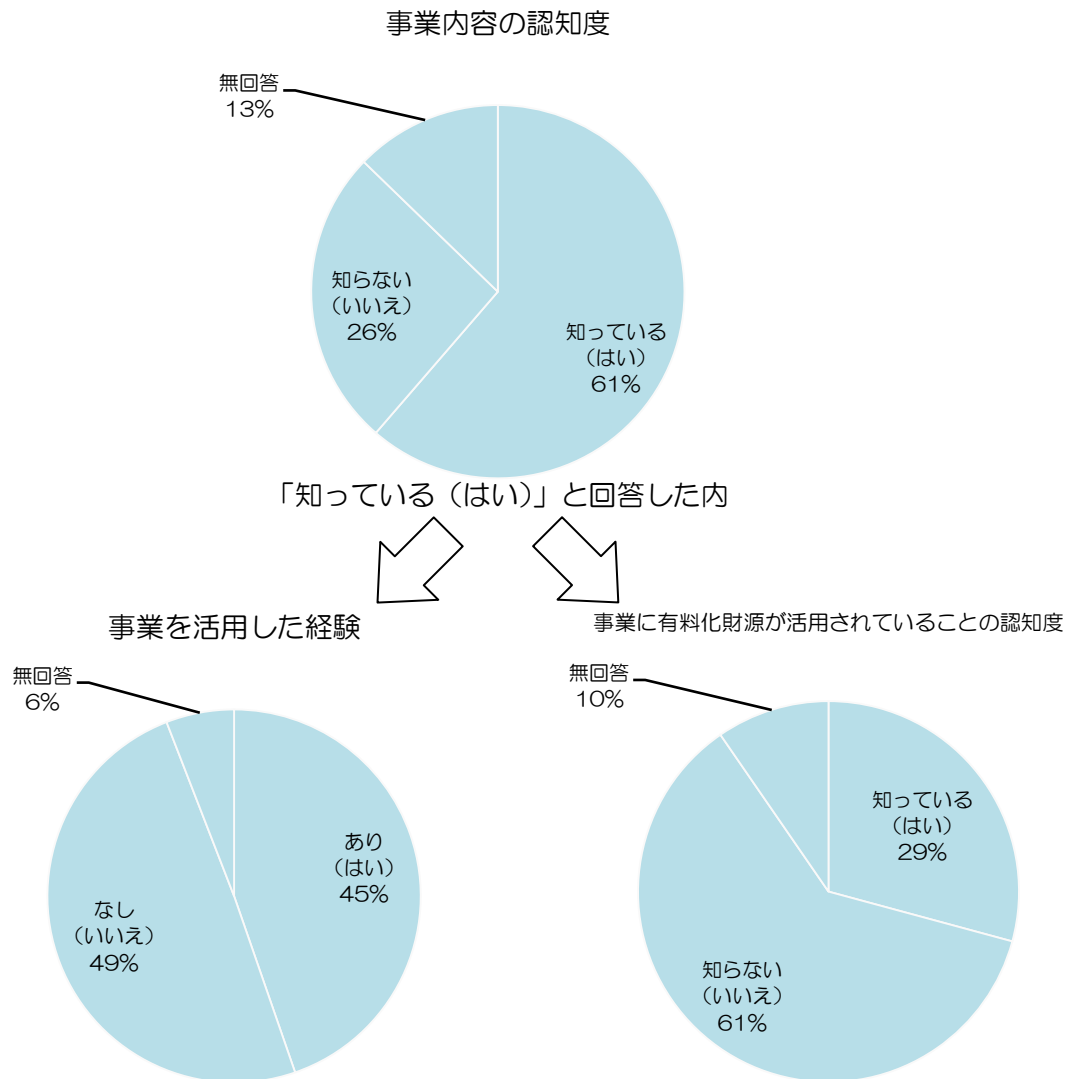
※ 年代の下の（ ）数字は、各年代の回答数

なお、この事業を活用した経験の年代別状況は、50代以下はほとんどゼロである一方、60代以上は10%程度が経験している。

また、この事業に有料化財源が活用されていることへの認知度については、50代以下が10%以下、60代以上が15%前後となっている。

【分野】 ②まちの美化の推進

【例示した事業】 市民の自主的な美化活動に必要なごみ袋の配布やカラスネットの貸与



(参考 事業内容の認知度の年代別集計)

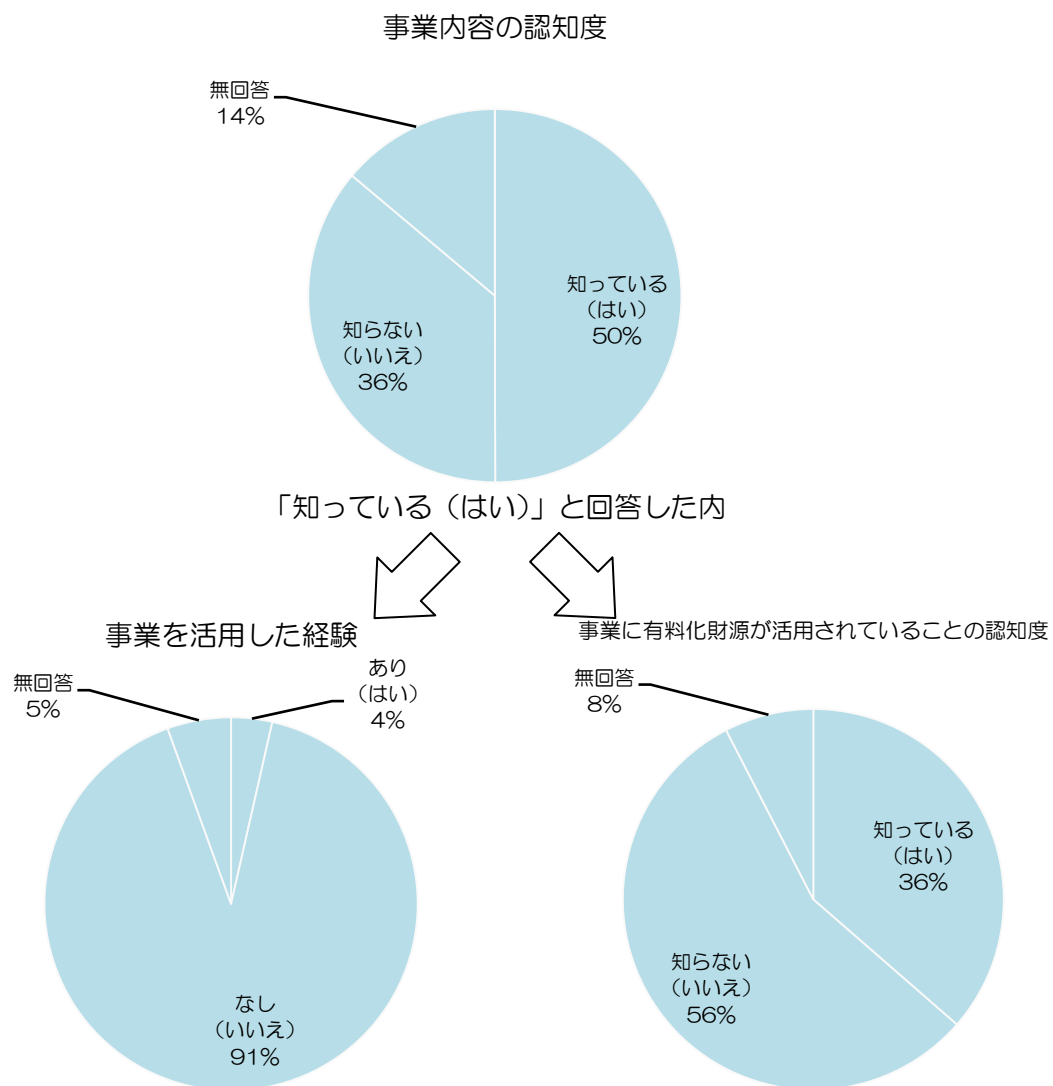
各年代とも 55%を超えていて、年代ごとに大きな差はない。

なお、この事業を活用した経験の年代別状況は、40 代以上は約 30%、30 代だけが約 20%となっている。

また、この事業に有料化財源が活用されていることへの認知度についても、活用した経験と同じような状況である。

【分野】 ③地球温暖化対策

【例示した事業】 住宅への太陽光発電システム設置に対する助成



(参考 事業内容の認知度の年代別集計)

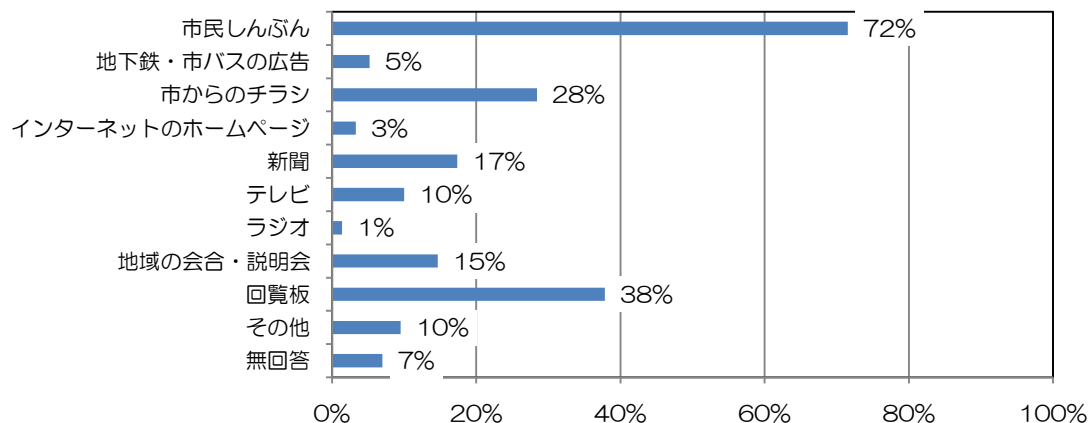
40代以上が50%前後で、30代だけが約40%となっている。

なお、この事業を活用した経験は、どの年代もほとんどない。

また、この事業に有料化財源が活用されていることへの認知度については、60代以上が20%前後で、50代以下は10%前後となっている。

(8) 事業の内容についての情報入手ルート（複数回答）（調査票 Q4－3）

調査票 Q4－2 で例示した事業を1つ以上知っていた回答数：1,250（総回答数に占める割合：82%）

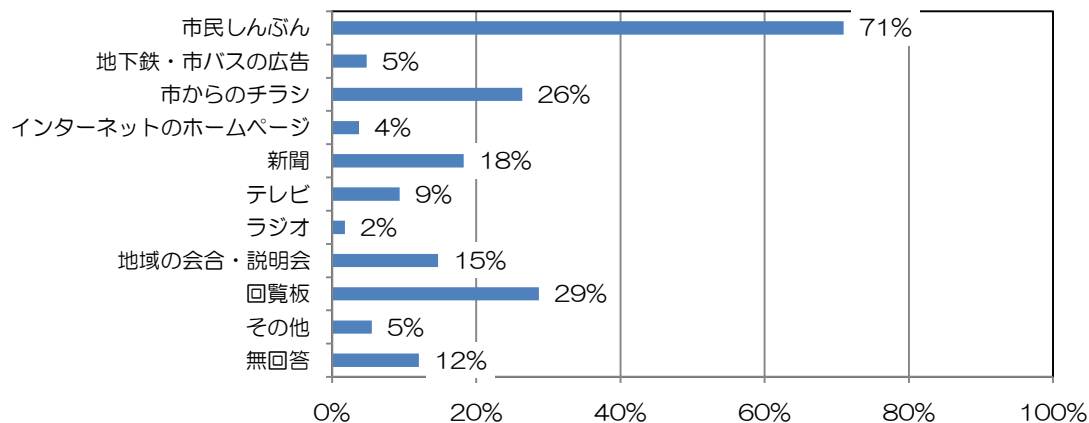


その他（自由回答）の主な意見：知人に聞いた（口コミ情報） など

※ 年代別集計は複雑なので、実施していない。

(9) 事業に有料化財源が活用されていることについての情報入手ルート（複数回答）（調査票 Q4－4）

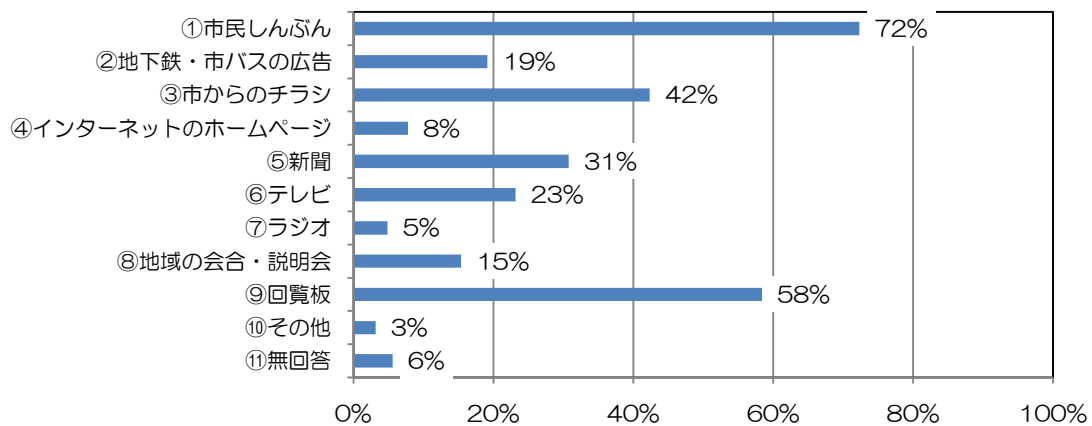
調査票 Q4－2 で例示した事業に有料化財源を活用していることを1つ以上知っていた回答数：565（総回答数に占める割合：37%）



その他（自由回答）の主な意見：有料化財源を活用した取組に参加した際に聞いた など

※ 年代別集計は複雑なので、実施していない。

(10) 有料化財源活用事業の情報入手ルートの要望（複数回答）（調査票 Q5）



その他（自由回答）の主な意見：町内の掲示板，学校で先生から生徒に伝える など

（参考 年代別集計）

（単位：パーセント）

	30代 (117)	40代 (199)	50代 (258)	60代 (434)	70～ (470)	傾 向
①市民しんぶん	61	62	69	76	79	・市民しんぶんは、30、40代の支持率が若干低い、それでも60%以上を占めている。 ・60代以上の地下鉄等広告支持率が少し低い。 ・50代以下のホームページ支持率は少し高い程度で、60代以上と大きな差はない。 ・30代の新聞支持率が低い。 ・テレビの支持率は、50代以下で高く、特に30代が高い。 ・地域の会合の支持率は、50代以上で少し高い。 ・そのほかについては、年代別に大きな差は見られない。
②地下鉄等広告	24	29	24	17	13	
③市のチラシ	37	42	43	47	41	
④ホームページ	9	14	13	6	4	
⑤新聞	20	39	32	31	30	
⑥テレビ	36	29	29	20	17	
⑦ラジオ	7	7	4	5	3	
⑧地域の会合等	9	11	15	18	17	
⑨回覧板	51	60	56	66	54	
⑩その他	6	6	3	3	1	
⑪無回答	5	4	5	4	8	

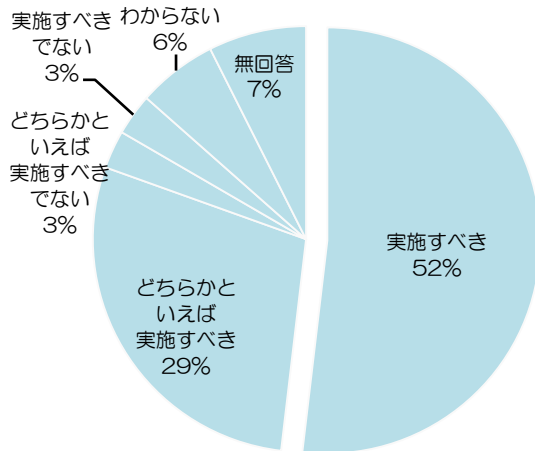
※ 年代の下の（ ）数字は、各年代の回答数

(10) 今後、有料化財源を活用すべき事業（調査票 Q6-1）

【分野】 ごみ減量・リサイクルの推進

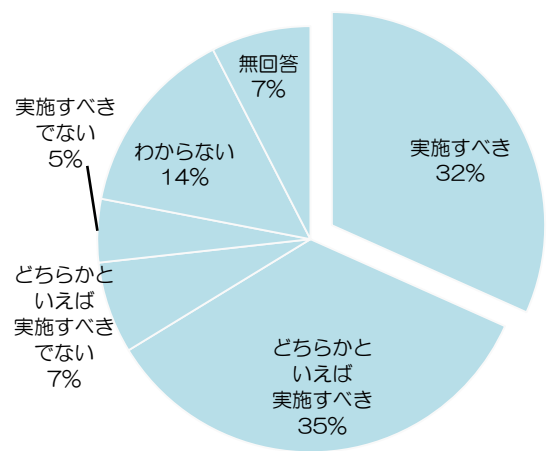
A 市民活動への支援

（事業例示：蛍光管や使用済てんぷら油等の回収拠点の設置など）



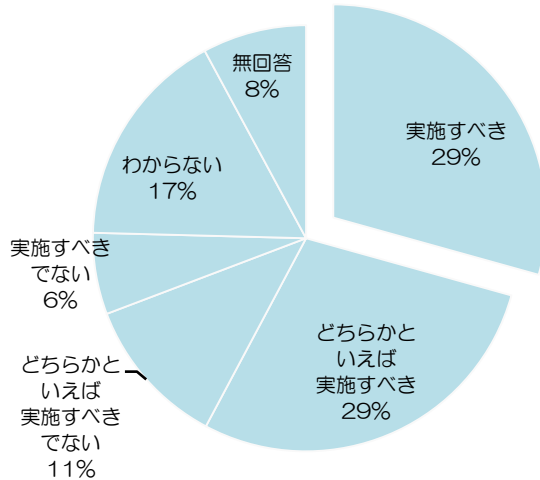
B 団体等への支援

（事業例示：区役所等と協力して実施するごみ減量の取組への助成など）



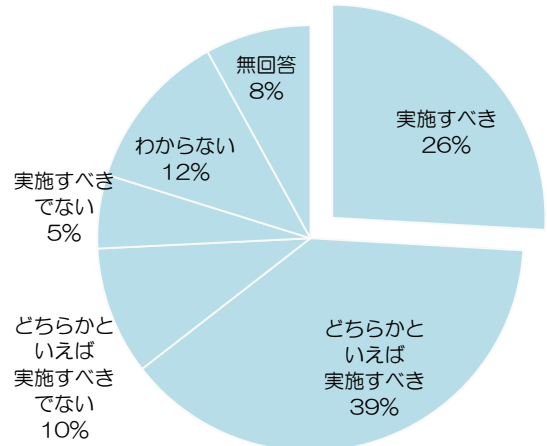
C 市民等への支援

（事業例示：電動式ごみ処理機・生ごみコンポスト容器購入の助成など）



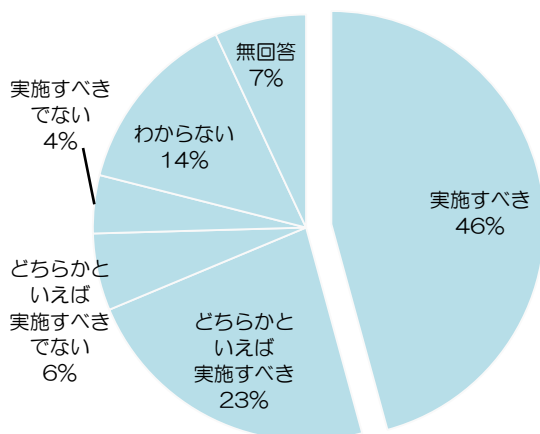
D 普及啓発の推進

（事業例示：ごみの処理・リサイクルに関する施設見学会の実施など）



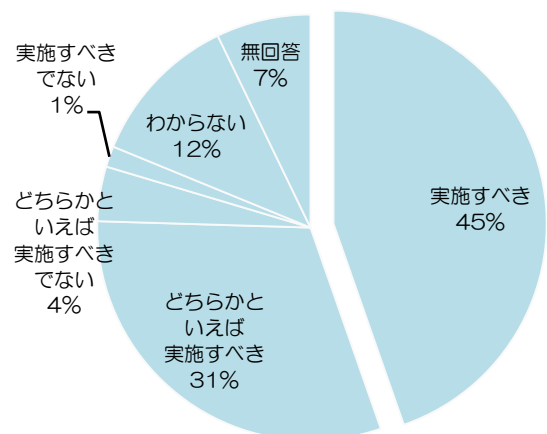
E 新たなリサイクルの取組

（事業例示：塗料・薬品などの有害危険廃棄物の回収など）



F CO₂削減に貢献するごみ処理・リサイクル対策

（事業例示：生ごみから出るメタンガスの有効利用など）



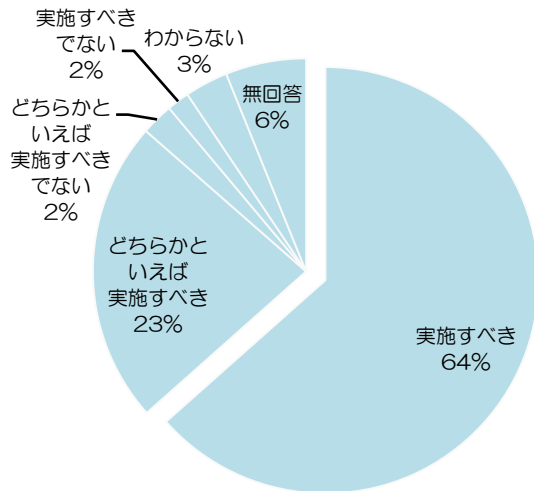
（参考 年代別集計）

「実施すべき」の割合について、AからFのいずれも、年代の高低による極端な差は見られない。

【分野】 まちの美化活動の推進

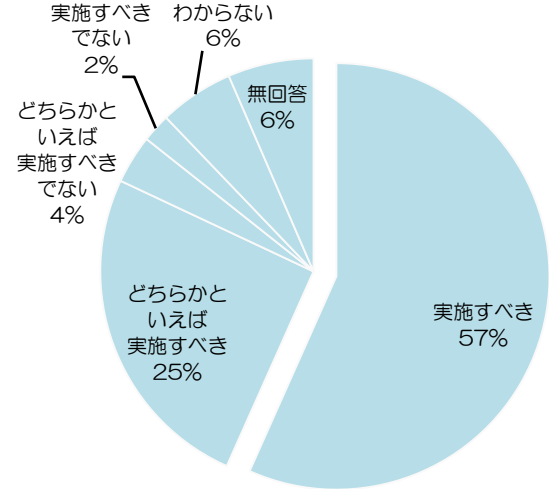
A まちの美化活動の推進

(事業例示：カラスネットの貸与など)



B ごみの不法投棄対策

(事業例示：パトロールや監視カメラ貸与制度による監視体制の強化など)



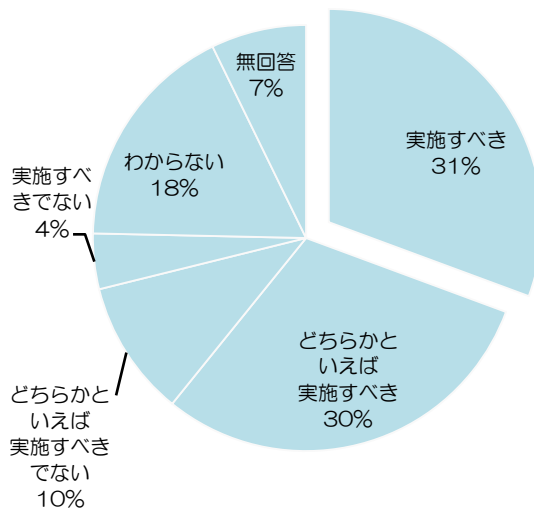
(参考 年代別集計)

「実施すべき」の割合について、A、Bのいずれも、年代の高低による極端な差は見られない。

【分野】 地球温暖化対策

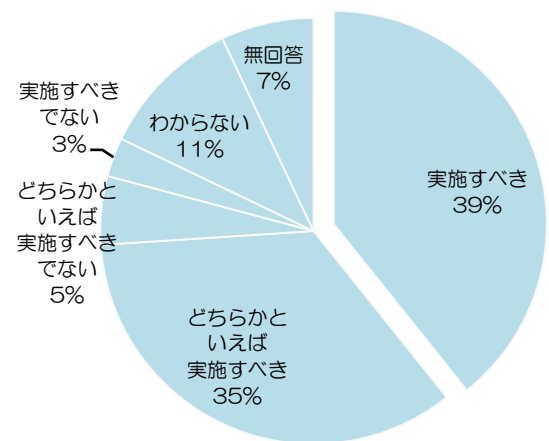
A 環境にやさしいエネルギー活用の推進

(事業例示：住宅への太陽光発電システム設置に対する助成など)



B 環境学習の推進

(事業例示：小学生が家族ぐるみで取り組む環境学習プログラムの実施など)



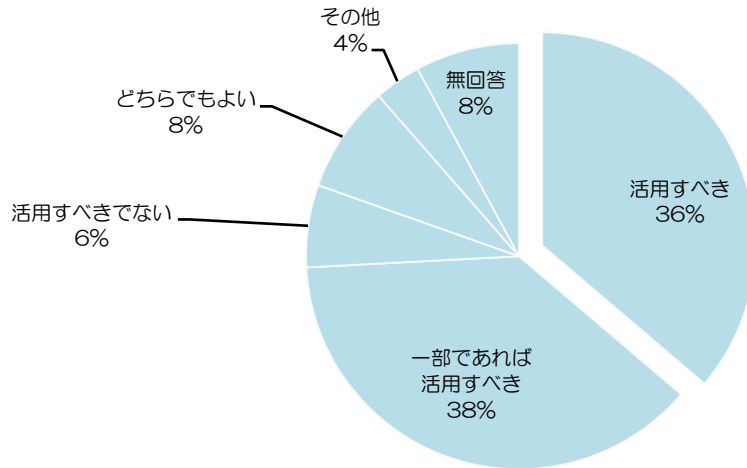
(参考 年代別集計)

「実施すべき」の割合について、A、Bのいずれも、年代の高低による極端な差は見られない。

(11) 今後、有料化財源を活用すべき事業（自由回答）（調査票 Q6-2）

14 ページ以降に記載

(12) ごみの減量・リサイクルに関する施設の運営管理費に有料化財源を活用することについて（調査票 Q7）

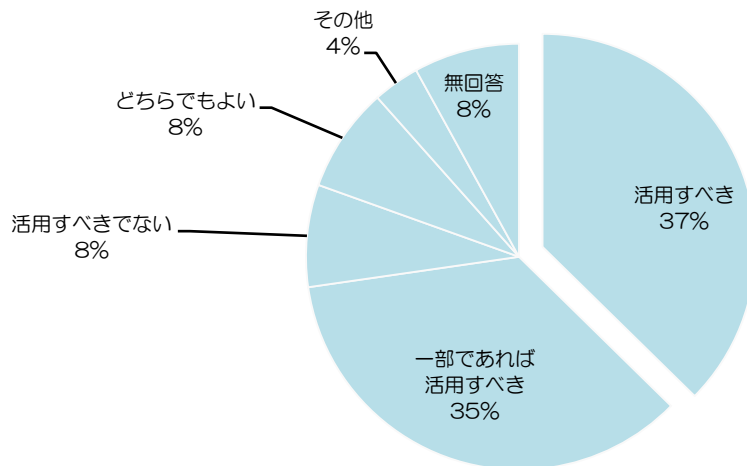


その他（自由回答）の主な意見

- ・リサイクルに関する施設がどんなものか分からないので判断できない
- ・会計の透明性があれば活用してもいい

など

(13) ごみの減量・リサイクルや環境学習等に関する施設の整備に有料化財源の活用による積立金を活用することについて（調査票 Q8）



その他（自由回答）の主な意見

- ・施設の整備の内容が分からないので判断できない
- ・施設整備より市民意識を変えることが大事ではないか

など

（参考 Q7、Q8 年代別集計）

Q7、Q8のいずれも、概ね以下のような傾向である。

- 「活用すべき」の割合は年代の高低と比例せずに凸凹が見られ、一番低いのが30代（20%程度）、50代が30%程度、その他の年代が40%程度となっている。
- 「一部であれば活用すべき」の割合は、70代だけが30%程度で、その他の年代は40%程度である。
- 「活用すべきでない」の割合については、70代以上が3%と低く、その他の年代は、7%～10%程度となっている。

今後、有料化財源を活用すべき事業（自由回答）（調査票 Q6－2）

○自由回答数：385件（総回答数に占める割合：25%）

①3つの分野に関する事業：245件

（内訳）

- ・ごみ減量・リサイクルの推進：146件
- ・まちの美化の推進：58件
- ・地球温暖化対策：21件
- ・3つの分野全般：20件

②3つの分野以外に関する事業：12件

（内訳）

- ・ごみに関すること：2件
- ・ごみ以外に関すること：10件

③活用事業の要望以外の意見：128件

※ なお、アンケート調査票では、3つの分野に関する事業に限定して記入を求めていた。

①3つの分野に関する事業（回答数：245件）

ごみ減量・リサイクルの推進（回答数：146件）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
A. 市民活動への支援	乾電池の回収の推進	6
	小型家電の回収の推進	4
	スーパーに全品目の回収所を設置すべき	1
	資源物を回収する商店の拡大	1
	毎日出せる拠点の設置	1
	自転車や家具を回収できる無料のセンターがほしい	1
	アルミ缶やびんの店頭回収先の増	1
	資源ごみ排出場所が近所にほしい	1
	てんぷら油の回収日を増やしてほしい	1
	回収に油かすが混入しないようネットを自費購入しているが負担である	1
	小計	18
B. 団体等への支援	特定団体への助成は不正の危険性があり慎重にすべき	1
C. 市民等への支援	生ごみ処理機の制度を周知すべき	2
	生ごみ処理機の助成範囲を拡大すべき	1
	生ごみ処理に関する購入補助の申請が難しい	1
	生ごみ堆肥と食品・物品との交換システムの構築	1
	生ごみ堆肥化は個人では臭いの問題等難しいので事業としてすべき	1
	町中に生ごみ集積所を作り堆肥化し花壇に使う	1
	個人に対する助成をすべきでない	1
	小計	8
D. 普及啓発の推進	なにに活用し、結果がどうであったかをもっと周知すべき	8
	普及啓発の推進	5
	実地で指導や研修をしてほしい	4
	資源ごみの活用ルートと結果の周知	3
	転入者へのごみに関する周知	2
	回収拠点の周知	2
	ごみ分別の一覧表作成	1
	プラスチック製容器包装の分別に関する周知	1
	資源ごみの処理の流れを映像化して流してほしい	1
	食品の有効利用や貯蔵法の啓発	1
	事業所に対するリサイクルの啓発	1
	ごみ減量月間の創設	1
	京のごみ減量事典の改訂版の発行	1
	地区単位でのごみ排出方法に関する周知の徹底	1
	リサイクル施設の見学に行きたい	1
	ごみ袋代の収入と経費をもっと解りやすく	1
	小計	34
E. 新たなリサイクルの取組（有害・危険物）	Eのリサイクルは企業がすべき	1
	Eのリサイクルは病原菌等問題が多いため専門家がすべき	1
	薬品を回収してほしい	1
	小計	3

ごみ減量・リサイクルの推進（回答数：146件）（続き）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
F. CO2 削減に 貢献する ごみ処理 リサイクル対策	ごみ燃焼時発生する熱源の有効活用	2
	石油系容器を排出しないための調査研究	1
	リサイクル技術の調査研究	1
	生ごみから出るメタンガスの有効利用	1
	生ごみ処理技術の開発	1
	ごみを集めてから量を減らすための機械の開発	1
	生ごみ減量処理に資金を使ってほしい	1
	ペットボトルからの生ごみ堆肥化技術の開発	1
	ごみの埋め立て処分以外の処理方法の研究	1
	大学等での省エネルギー研究への補助	1
	リサイクルごみ処理など新技術開発にもっと投入すべき	1
	小計	12
その他 ごみ減量・ リサイクルの 推進関連	包装材の削減の推進	9
	業者収集マンション、事業所でのゴミの分別指導を強化してほしい	7
	大型ごみ回収手数料を安くすべき	7
	大型ごみをリサイクルすべき	6
	スーパー等販売店でレジ袋削減に取り組むべき	4
	枯葉や草木の堆肥化等有効利用	3
	大型ごみの回収方法を簡易化すべき	2
	紙おむつ回収の利便化	2
	製造者がごみを削減するよう働きかける	2
	リサイクル用品の販売の推進	1
	リサイクルを確実にしてほしい	1
	リサイクルではなくリデュースに力を入れるべき	1
	リサイクルセンターでの総量を厳重にチェックすべき	1
	民間を利用した資源ごみ回収を実施してほしい	1
	プラスチックごみを有効活用してほしい	1
	市民がごみを細かく分別して出しにいくシステム構築	1
	引越し時のごみ処理経費の軽減	1
	プラスチック製品そのものが普通ごみなのはおかしい	1
	家の建具の再利用のための保管場所を設置してほしい	1
	家電製品のリサイクルの引き取り価格を下げてほしい	1
	後世のためにごみ減量・リサイクルを進めてほしい	1
	大型ごみ以前のように町内・学区で収集すべき	1
	エコバックの作成と配布	1
	コンビニでのごみの分別の徹底化	1
	スーパーにリサイクル品とごみ袋を交換できる機械を設置してほしい	1
	一時大量ごみの引き取りサービス	1
	パソコンのリサイクルをすべき	1
	台所器具の無料回収	1
	電化製品を回収してほしい	1
	落ち葉の回収日を別で設けてほしい	1
	消火器を回収してほしい	1
	紙を回収しリサイクルすべき	1
	魚アラルリサイクルセンターにおける人的資源の活用を支援すべき	1
	テレビのアナログ放送終了により大量のテレビが廃棄物となるため、回収に有料化財源を充当すべき	1
	ごみ問題につき企業とのタイアップで利益を得られる仕組みをつくるべき	1
	ごみ袋ホルダーを作るべき	1
	リサイクルに関する施設の管理経費に有料化財源を活用すべきでない	1
	小計	70

まちの美化の推進（回答数：５８件）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
A. まちの美化活動の推進	まちの美化活動を推進すべき	7
	収集所にポリバケツ等ふた付の容器を設置し、カラスや猫の被害を減らす	6
	公園や河川の美化を推進すべき	5
	町中にごみ箱を増設する	3
	清掃ボランティアチームを作る	2
	街路樹や花壇の整備	2
	タバコのポイ捨てを防ぐ	2
	美化活動時のごみ袋配布の拡大	2
	清掃時のごみ袋の無料提供につきもっと周知すべき	1
	地域のごみ拾い活動への援助を推進	1
	地域のごみ拾いに市から一人一枚大袋を支給するのは無駄	1
	狨友会を使ってカラス対策すべき	1
	美化活動の実施に関する周知の徹底	1
	ホームレスを清掃事業に参加させる	1
	生活用排水路の清掃	1
	落ち葉が減るよう歩道の木々の葉の手入れを早めにすべき	1
	ペットを飼うのに税金を課せばふんが減る	1
	ペット立ち入り可の専用公園を設け、他は規制する	1
	小計	39
B. 不法投棄対策	不法投棄対策を推進すべき	9
	自転車の不法投棄対策として、処理やリサイクル情報を周知すべき	2
	不法投棄対策専門の会社があればよい	1
	パトロール啓発車は運行速度をゆっくりにし、啓発を丁寧にしてほしい	1
	撤去の迅速化	1
	不法投棄防止のためにごみの持ち込み場所の増設	1
	住民を監視員にして費用を払う	1
	不法投棄者への厳罰化	1
	監視カメラ貸与制度につきもっと周知すべき	1
	不法投棄防止掲示板の設置	1
	小計	19

地球温暖化対策（回答数：21件）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
A. 環境にやさしいエネルギー活用の推進	公共施設への太陽光発電の設置	2
	街灯等の太陽光発電使用	1
	電動自転車の使用（駅から観光地へ）	1
	風力を利用すべき	1
	バイオマスや水力を利用すべき	1
	小計	6
B. 環境学習の推進	省電力や省水対策の勉強会の実施	1
	小学校の環境学習教材の購入費助成	1
	小学校低学年対象のごみのゆくえの授業をすべき	1
	小学生に植樹させて将来エコライフを意識できるようにする	1
	中高生へも一貫した啓発をする	1
	授業で見学会・説明会の実施	1
	関心を寄せない若い人の意識を高める教育をすべき	1
	小計	7
その他の地球温暖化対策関連	植樹や芝生化による緑化事業	3
	LRT 等公共交通への補助	2
	様々な施設のエアコン設定温度の管理	1
	温暖化対策は 100 年や 200 年でなくもっと長い目で気温を見るべき	1
	公共施設に京都市の木材の利用を進める	1
	小計	8

3つの分野全般（回答数：20件）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
3つの分野全般に関する意見	余計なことに使ってはいけない	11
	公開事業仕分け等，外部の目で精査すべき	3
	積立に重点を置くべき	2
	3つの分野全般につき，もっと市の財源で実施すべき	2
	イベントや見学会ではなく形として残るものに使ってほしい	1
	啓発や温暖化対策には使わず，直接的に必要なものに使うべき	1
	小計	20

②3つの分野以外に関する事業（回答数：12件）

ごみに関すること（回答数：2件）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
3つの分野以外のごみに関すること	新たな埋立地の建設	1
	ごみの収集・焼却の経費に使うべき	1
	小計	2

ごみ以外に関すること（回答数：10件）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
3つの分野以外のごみ以外に関すること	有料化財源を京都市全体の事業に回し、市民税を減らす	2
	働く人材、人格向上に使うべき	1
	60歳以上で敬老乗車証を発行できない者（低年齢の高齢者）の為に敬老乗車証と同じような施策財源にしてほしい	1
	都市計画（伝統ある京都を守っていくために）	1
	広告の規制（美化を損なう広告等の排除）	1
	文化芸術分野へ使用	1
	高齢者向けの座れるショッピングカートの無料配布	1
	駅前自転車駐輪場の設置	1
	道路の舗装をしてほしい	1
	小計	10

③活用事業の要望以外の意見（回答数：１２８件）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
有料指定ごみ袋について	価格を下げるべき	22
	倉庫に残っているごみ袋は無駄	5
	ごみ袋の種類を増やしてほしい	4
	資源ごみの収集所にかご等を置けばごみ袋が不要になり、袋代が助かる	2
	ごみ袋が破れやすい	2
	価格を上げるべき	1
	ごみ袋表面の印刷を減らし経費削減すべき	1
	黄色ではカラスよけの効果がない	1
	今後値上げされないか不安	1
	草木専用の有料指定ごみ袋を作成すべき	1
	年収に応じた価格設定をすべき	1
	少し高くても分別不要の袋がほしい	1
	障害者（住民税非課税）のみの世帯の指定袋を無料にしてほしい	1
	小計	43
ごみの分別ルールについて	もっとごみの分別を細分化すべき	2
	他都市との取り扱いと統一すべき	1
	戸建とマンションで取り扱いを統一すべき	1
	小計	4
ごみの収集について	ごみ収集を迅速化すべき	7
	収集もれに注意すべき	4
	ルールを守っていないごみも早く収集してほしい	3
	収集車の運転マナーが悪い	3
	市職員より民間業者のほうが仕事が丁寧なので、委託料を増やすべき	1
	ごみの回収を丁寧にしてもらい評価している	1
	ごみ収集を民営化すべき	1
	地域ごとのごみ収集時間表を作成してほしい	1
	年末の家庭ごみの日を増やしてほしい	1
	小型金属の収集もれが多い	1
	資源ごみ（びん・缶）の収集時、回収車の中でびんが割れているようだがリサイクルできるのか	1
	収集車の運転手がタバコのポイ捨てをしていた	1
	収集しない場合の貼り紙対応がまちまち	1
	収集車に３人も乗る必要があるのか	1
	年末年始ごみの収集日程（市民新聞）を全家庭に配布してほしい	1
	小計	28

③活用事業の要望以外の意見（回答数：１２８件）（続き）

事業	具体的な意見	
	意見内容	回答数
ごみの処理 について	分別してもまとめて燃やすだけではないのか	５
	クリーンセンター職員の態度が悪いと感じる	１
	京都市のごみ処理は他地区と比して良くできている	１
	小計	７
不祥事について	薬物使用等の不祥事を根絶すべき	４
不祥事及びア ンケート調査 について	ボールペンの同封は税金の無駄使い	１９
	ボールペンの同封に感謝している	２
	この調査自体が資源の無駄	１
	有料化財源のことを知れてよかった	１
	小計	２３
その他の意見	資源ごみの抜き取りを規制すべき	６
	梅小路公園に水族館は要らない	２
	一定の業者のみが儲けている行政ではいけない	１
	市民に何をしてほしいか、何かテーマを作り提案すればいいと思う	１
	環境局の努力はよくわかる。老人ながら色々情報を流してもらい協力したいと思う	１
	今の形で市民が習慣になるよう根気強く続けるべき	１
	若者の働くところを１つでも多く作り、浮浪者をなくし活気ある所にすべき	１
	市民を巻きこめる事業の進め方をすべき	１
	人件費を減らすべき	１
	市の税配分は不公平であり不満	１
	マンションや共同住宅に高さや容積率の税金をかけること	１
	様々な施設のエアコン設定温度の管理	１
	温暖化対策は１００年や２００年でなくもっと長い目で気温を見るべき	１
	小計	１９

